

## 平成 28 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

平成 28 年 11 月 8 日  
静岡県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 コリアンダー斑点細菌病 (仮称)  
病原細菌名 *Pseudomonas syringae* pv. *coriandricola*
- 2 発生作物 コリアンダー (別名: パクチー、シャンツァイ、香菜、コエンドロ)
- 3 発生経過および状況
  - (1) 平成 28 年 6 月に、県内のコリアンダー栽培ほ場で、葉や葉柄に斑点やえそ症状が発生し、静岡県農林技術研究所に診断依頼があった。同症状からは細菌が分離され、静岡大学に同定を依頼した結果、わが国では未確認のコリアンダー斑点細菌病 (仮称) であることが判明した。
  - (2) 名古屋植物防疫所及び静岡大学と合同で、発生が確認されたほ場において調査を行ったところ、当該生産者の複数のほ場で本病原細菌の感染が疑われる症状が確認された。
  - (3) 本病は、ヨーロッパや北米、中米、インド、オーストラリアで発生が確認されている。
- 4 病 徴  
微小な黒色水浸状の病斑が葉脈に沿って連続したり (図 1)、葉に散在したりする (図 2)。また、葉柄にも褐変が認められることがある (図 3)。
- 5 宿主植物  
宿主はコリアンダーのみである。但し、ヨーロッパでは、ニンジン、パセリ、アメリカボウフウで罹病した報告がある。
- 6 発生生態および伝搬方法  
本病原細菌の生態は不明な点が多いが、コリアンダー栽培ほ場では、は種後約 1 ヶ月から葉に病徴が現れ始める。病原細菌は、発病部位から、かん水等による水滴の飛散や管理作業により感染が拡大すると考えられる。ヨーロッパでは、種子伝染する報告がある。
- 7 防除対策
  - (1) 本病に対する登録農薬はないため、耕種的防除が基本となる。
  - (2) 種子は、完熟した健全な種子を使用する。
  - (3) かん水は、葉を濡らさないよう頭上からのかん水を避け、チューブかん水や点滴かん水を行う。
  - (4) 発病株は除去し、土中深く埋める等して適切に処分する。
  - (5) 感染が疑われる株の管理作業後は、使用した器具を必ず消毒する。
  - (6) 雨の多い時期や雨天時の管理作業は、感染を助長するため避ける。

8 その他

不明な点は、病害虫防除所に相談する。



図1 連続した水浸状の病斑 (矢印)



図2 散在した水浸状の病斑 (矢印)



図3 褐変した葉柄 (矢印)

問い合わせ先： 静岡県病害虫防除所 TEL. 0538-36-1543